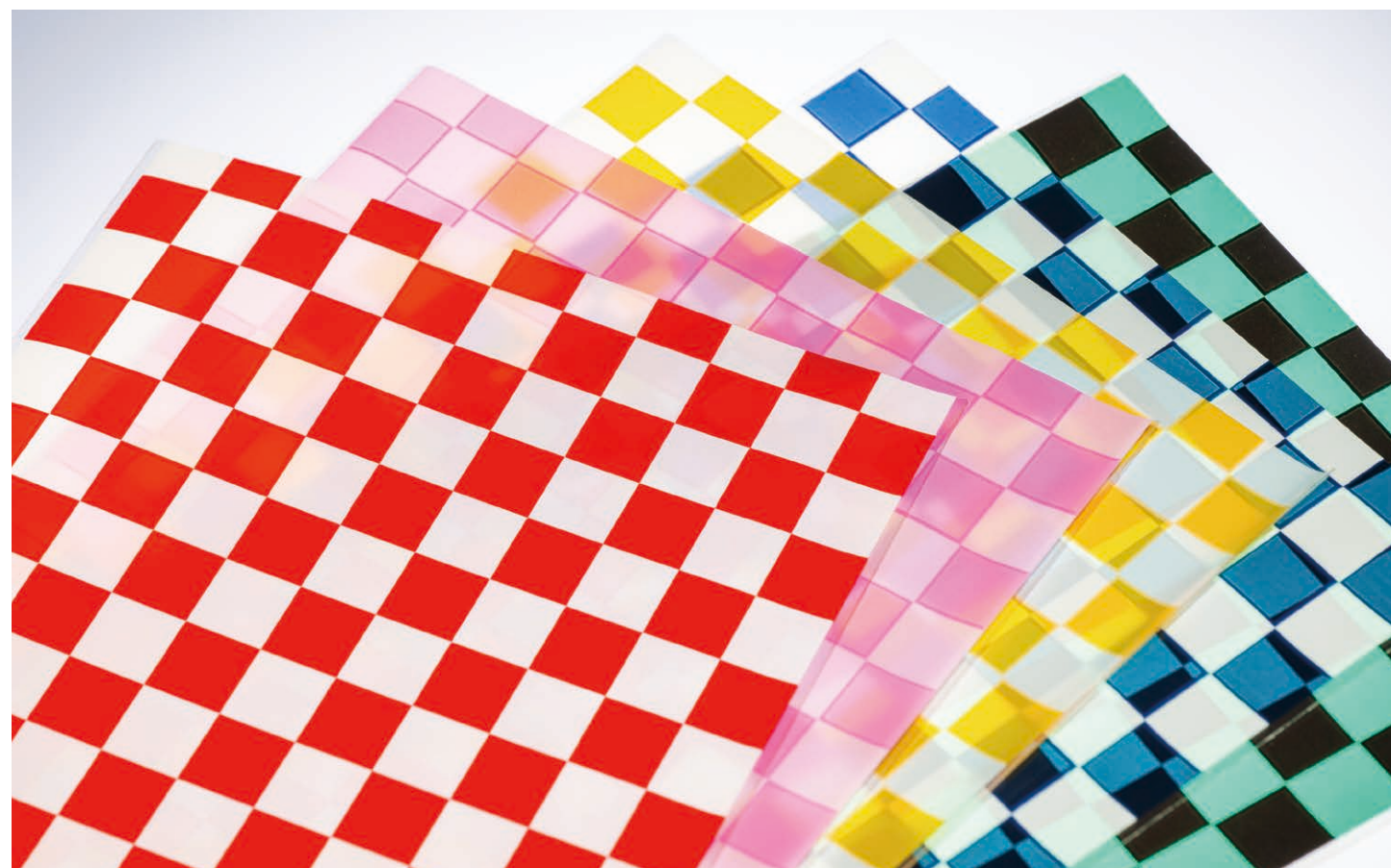


hm ハイメール化成株式会社
HIGH MAIL CO., LTD.

OPPフィルムパッケージで商品に付加価値を一貫生産体制でお客様に信頼と満足を

ビジネスにおいても生活の上でも、様々な場面で商品を包み、彩る、ポリプロピレンフィルムパッケージ。そのグラビア印刷とスリット、サイドシール製袋、工程のすべてを自社で担い、「ワンストップ・ソリューション」でお客様の「欲しい」を具現化する。変化する市場のニーズを先取りしながら。



産業用サーマルプリンター搭載による高付加価値パッケージの提供

1. 取り組みの経緯

視認性の高さや、水に強く、きれいな包装ができることなどから、ポリプロピレンフィルムパッケージの需要は増えているものの、印刷・製袋については他社との競争が年々厳しくなっている。そんな状況下において、顧客ニーズの高い「QRコード印字」や「生産者名表示」を付帯した短納期・低コストの提案により、顧客満足度向上とシェアの拡大、新規市場開拓をめざした。

2. 実施内容

製袋機のホットプリンターは情報印字に非対応で、せっかくのオーダーの取りこぼしも発生していたことから、補助金で最新型の間欠印字サーマルプリンターを導入。既存ラインの製袋機に搭載し、製袋中にインラインで情報を印字できる体制を構築した。版が要らず、パソコンで作成したデータで複数の情報が印字可能、情報の内容変更にも容易に対応でき、小ロット印刷も可能となった。

3. 取り組みの成果

現行機と比べて1日あたりの加工枚数が約1.5倍になり、生産性が上がったことで高品質・短納期・低コストを実現。取引先にサンプルを送付して装置導入を広報、無地袋対応の顧客にも取り入れやすさをアピールしている。またネットショップの窓口を大きく広げ、100枚という極少ロットのオリジナル商品を企画したり、CtoCの需要増に合わせて戦略を練っている。

事業者から一言 新しい事業の柱を育てたい

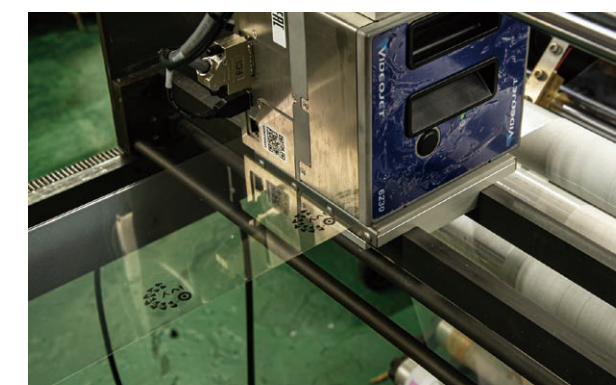
既存顧客を大切にしつつ下請け受注の比率を下げていけるよう、サーマルプリンター導入を機にネットショップに力を入れており、効果的な運営のためのノウハウを学んでいるところです。OPPフィルムパッケージは美しさや強さで紙を凌駕すると思っていますので、その可能性を探り、新しい事業の柱を育てたいです。



杉崎 俊介氏



▲版代がネックとなってQRコードに対応できていなかった



▲既存の製袋機に産業用サーマルプリンターを搭載



▲QRコードをはじめ、様々な情報を複数印字できるようになった

ハイメール化成株式会社

〒770-0002
徳島県徳島市春日2丁目4番5号
Tel.088-631-3302 Fax.088-633-3344
●代表取締役 杉崎 等
●設立年月日 昭和62年9月22日
●資本金 1,500万円
●業種 プラスチック製品製造業
●従業員数 12名
●ホームページ <https://highmail-kasei.tkc.best-hp.jp>